

J Aバンク富山における 地域密着型金融の取組状況 (2019年度)

2020年9月

JAバンク富山

はじめに

✓JAバンク富山（富山県下15JAと農林中央金庫富山支店）では、農業と地域社会に貢献するため、2019年度～2021年度JAバンク富山中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

✓2019年度の地域密着型金融の取組状況について、取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援・・・P.3
2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援・・・P.9
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供・・・P.16
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献・・・P.19

1.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

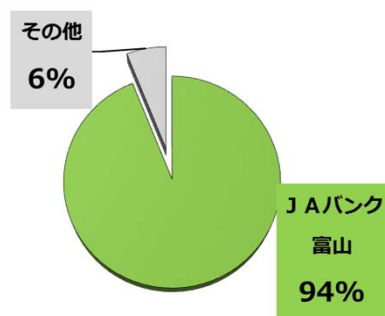
1-1 農業融資商品の適切な提供・開発

✓JAバンク富山は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

✓2020年3月末時点のJAバンク富山の農業関係資金残高は^(注1)約97億円、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は^(注2)約30億円取り扱っています。

✓特に農業近代化資金の取扱いにおいてはトップシェアとなっています。

【富山県の農業近代化資金取扱シェア】



(2019年12月末時点) 出所：富山県

(注1) 農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク富山が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 (単位:百万円)

営農類型	2020年3月末
農業合計	6,863
うち穀作	2,929
うち野菜・園芸	114
うち果樹・樹園農業	56
うち工芸作物	-
うち養豚・肉牛・酪農	148
うち養鶏・鶏卵	180
うち養蚕	-
うちその他農業(注1)	3,437
農業関連団体等(注2)	2,792
合計	9,656

(注1) その他農業には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 農業関連団体等には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位:百万円)

種類	2020年3月末
プロパー農業資金(注3)	7,118
農業制度資金(注4)	2,537
うち農業近代化資金	2,139
うちその他制度資金(注5)	398
合計	9,656

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位:百万円)

種類	2020年3月末
日本政策金融公庫資金(注6)	2,967
その他	0
合計	2,967

(注3) プロパー農業資金とは、JAバンク富山原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注4) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク富山が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が融資するものがあり、ここでは①および③の転貸資金と②を対象としています。

(注5) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(新スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

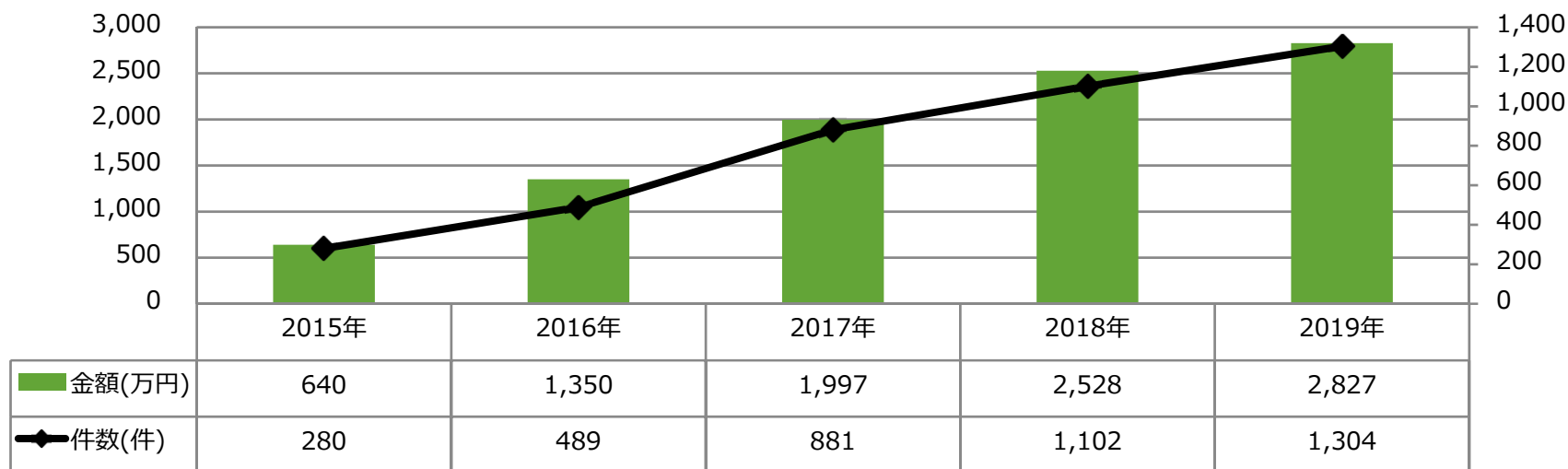
(注6) JAバンク富山では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

1-2 農業融資への利子補給の実施

✓JAバンク富山は、農業振興等に貢献するため、農業融資を対象に最大1%の利子補給を行い、農業の担い手をサポートしています。

✓2019年度は県内15JAで、**1,304件/2,827万円**の利子補給(助成)を行いました。

利子補給(助成)実績推移



1-3 担い手のニーズに応えるための体制整備

✓ JAバンク富山では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

✓ 県内JAには、**40人**の「担い手金融リーダー」が設置されており、担当者とともに農業融資に関するご相談をお受けしたり、訪問・資金提案活動を実施しています。

✓ 農林中央金庫富山支店では、JAサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「農業金融センター」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

1-4 JA内事業間連携の強化

✓JAバンク富山では、農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、これまで以上にJA内事業間連携の強化に取り組んでいます。

具体的取組事項
農業資金の審査において、営農部門を合議先として財務分析を行い、連携・情報共有を実施。
融資・営農及びTAC・農機具部門間にて、毎月1回の情報連携を図るミーティングを開催。
信用担当者及び経済担当者がサービス向上・農業融資知識向上を目的に農業融資実務検定の受験。
営農指導員・農機部門職員・融資担当者を対象に農業融資勉強会を実施。
融資担当者と営農指導員、農機部門の職員による同行推進を実施。

2.担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

2-1 新規就農者の支援

✓JAバンク富山では、新規就農者の経営をサポートするため、青年等就農資金の取扱いを行っております。

【2019年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	2020年3月末残高
青年等就農資金(※)	8	41	125
就農支援資金	-	-	40
合計	8	41	165

※青年等就農資金とは、2014年度に取扱いとなった公庫資金(就農支援資金は青年等就農資金取扱いにより廃止)。

2-2 農商工連携の推進

✓JAバンク富山では、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【2019年度 商談会開催状況】

商談会名	開催日	参加者・商談数・成約率	内容
2019年度 北信越商談会	2020年 1月28日	参加者 ・セラー 35団体 ・バイヤー 42団体 総商談数 274件 成約率 15.3%	<p>✓主に北信越5県の農産物、海産物およびその加工品生産者、JA、JF（漁協）グループ等をセラーとし、地元および首都圏のスーパー、食品卸、ホテル、食品加工等様々な業態の方をバイヤーとして、予約型商談およびフリー商談による商談会を開催しました。</p> <p>✓特設ブースを設営し、輸出支援にかかる相談や制度紹介による農業者所得増大サポート、各団体のPR活動、新規就農者によるバイヤー商談を実施しました。</p>



2-3 生産者と消費者をつなげる場の設定

✓JAバンク富山では、生産者と消費者をつなげる交流イベントを開催し、好評を博しました。

【イベント等開催状況】

JA名	イベント名	開催日（年月日）	内容
JAみな穂	農業祭	2019年10月26日～27日	各種催し物、農産物の販売等
JAうおづ	ふれあい大市	2019年6月8日	イベント等
	農業祭	2019年11月9日～10日	農産物直売、農産物品評会等
JAアルプス	たてやま農産物直売所お盆セール	2019年8月12日～13日	生産者と消費者の繋がり強化を目的に店舗・特設テントにて地元の野菜、加工品、切り花を中心に販売
JAあおば	田植え体験ツアー	2019年5月12日	コープ神戸で募集した親子を対象に田植え（手植え、田植機に乗車しての田植え）を体験
JA富山市	直売所イベント	季節	夏祭りや、お彼岸、新米イベント等
JAなのはな	農協まつり	2019年11月9日～10日	イベント等
	・朝市（2会場） ・夕市（1会場）	2019年5月～11月 毎週開催	販売会等
JAいみず野	黒大豆えだまめ（富山ブラック）フェア	2019年7月20日	射水市産枝豆の即売会
	花の即売会	2019年8月12日	射水市産の小菊、百合等の即売会
	農業産業まつり	2019年11月9日	農産物の直売、農産物品評会等

【イベント等開催状況】

JA名	イベント名	開催日（年月日）	内容
JA高岡	お盆切り花大特売市	2019年8月13日 ～14日	お盆の時期の消費者ニーズに応えるため、特設会場を設け切り花の特売を実施。
	2019たかおか食彩フェア	2019年11月17日	市民に農業への理解を深めてもらうために農産物直売等を実施。
JA氷見市	棚田オーナー事業	2019年5月25日	県内外のオーナー会員22組や、地元関係者が参加し、コシヒカリ苗の手植え作業を実施。
	ハトムギオーナー事業	2019年5月26日	オーナー19組が地元関係者とともに種まきを実施し、その後山菜料理等の振る舞いにより交流を深めた。
JAとなみ野	たまねぎ祭り	2019年6月15日	たまねぎの販売促進と地域住民と交流。
	農業祭り	2019年11月9日～10日	農業者による農産物の直接販売と地域住民との交流。
JAなんと	なんと酒米サミット	2019年7月18日	酒米の実需者である酒造メーカー販売店と生産者の交流会を実施。
JAいなば	田植え体験	2019年4月25日～26日	農業法人にて田植え体験
	おおさかパルコープ親子田植え体験ツアー	2019年5月18日～19日	消費者との農業体験 (田植え体験、サツマイモ定植体験、海苔巻きづくり)
	稲刈り体験	2019年8月26日	農業法人にて稲刈り体験
	おおさかパルコープ共同購入担当者産地研修	2019年9月6日～7日	取引会社との農業体験（施設見学）
	おおさかパルコープ親子稲刈り体験ツアー	2019年9月21日～22日	消費者との農業体験 (稲刈り体験、さつまいも収穫体験・米作り学習・おにぎりづくり体験)
	おおさかパルコープ店舗交流販売事業	2019年10月26日～27日	取引会社との交流イベント（各店舗にて餅つき交流）

2-4 台風による被害を受けた方等への支援

✓JAバンク富山では、台風による被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

【2019年度 取組事例】

(単位：件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
JAうおづ台風21号緊急支援資金対応	JAうおづ	JAうおづでは、台風で被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金に対応しました。	7	17

2-5 経営不振農業者の経営改善支援

✓JAバンク富山では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【2019年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績(注1)】

(単位：先数、%)

	期初経営改善 支援取組先(注2)			再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A		
	A	Aのうち再生計画を 策定した先数 a	Aのうち期末に債務 者区分がランクアップ した先数(注3) b			Aのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先数(注4) c	
正常先①	0	0		-			
要 注 意 先	うちその他要注意先②	5	1	0	5	20.0%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	0	-	-
破綻懸念先④	2	0	0	2	0.0%	0%	
実質破綻先⑤	2	2	0	2	100.0%	0%	
破綻先⑥	0	0	0	0	-	-	
小計(②～⑥の計)	9	3	0	9	33.3%	0.0%	
合 計	9	3	0	9	33.3%	0.0%	

(注1) 農業所得が主となる農業者を対象として、JAの事業年度で集計しています。

(注2) 経営改善支援取組先とは、JAが条件緩和や再生計画の策定など経営改善支援に取り組んでいる先をいいます。

(注3) 期末に債務者区分がランクアップした先とは、期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。

(注4) 期末に債務者区分が変化しなかった先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

3-1 負債整理資金による経営支援

✓JAバンク富山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2019年度 負債整理資金貸出実績】

(単位：百万円)

資金名	2020年3月末残高
経済貸越借換資金	15
大家畜・養豚特別支援資金（注1）	20
農業経営負担軽減支援資金（注2）	5
その他（注3）	15
合 計	55

（注1）大家畜・養豚特別支援資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

（注2）農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

（注3）その他は、県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金（要綱資金、独自資金）による借換え資金などが該当します。

3-2 動産担保融資の活用

✓JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

✓富山県における融資の実績は次表のとおりです。

【2019年度 動産担保融資活用実績】

(単位：百万円)

種類	2020年3月末	
	件数	残高
畜産物	2	20
機械設備	0	0
合 計	2	20

4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等 地域育成への貢献

4-1 食・農への理解促進

✓JAバンク富山は、地域も小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

✓教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、2019年度には県下の国公立小学校約**180校**へ約**10,700セット**配布され、学校の授業等において活用されています。



【児童用】



【教師用】



【教材本贈呈式の様子】

4-2 農山漁村等地域育成への貢献

✓県下JAでは、講演会・セミナー等の開催、地域貢献活動などの幅広い実践活動に取り組んでいます。

【講演会・セミナー等の開催】

主催者名	イベント名(講演会名)	開催日 (年月日)	内容
JAうおづ	農協生産団体代表者会議	2019年4月11日	講師 吉田 稔 題目「とやま型スマート農業について」

【地域貢献活動内容】

JA名	イベント名	内容
JAくろべ	環境美化活動	各施設周辺の清掃活動を年2回開催。
	職員の農家派遣	連続職場離脱を利用し農家の作業補助。
JAうおづ	ジャガイモの栽培	市内の保育園において園児と一緒にジャガイモの定植から収穫まで実施。
	魚津市への寄贈	防犯カメラの寄贈。
JAアルプス	朝ごはん食べよう運動	駅前通勤・通学者へおにぎりを配布し、朝ごはんの大切さをアピール。
	JA女性学校でワンポイント野菜講座	JA女性学校において毎回ワンポイント野菜栽培講座を開催。（6月～2月で5回開催）
	学校給食への新米贈呈	アルプス管内で収穫された新米を市町村へ寄贈し、学校給食で子供たちに地元の新米を食べてもらう。
JA富山市	とやまのゆる活	組合員に限定せず、JAに親んでもらうため、月1回の行事を計画し、地産地消の料理教室や、普段の生活を豊かにする趣味活動などを行った。
JA高岡	バケツ稲づくり	地域の保育園・小学校と提携した食農教育活動の取組。
	米ニューケーション田	次世代を担う子供たちに実際に農作業を体験してもらい、農業の大切さを学びきっかけづくりとしている。
	地元プロスポーツチームとのコラボ企画	富山サンダーバーズとのタイアップ企画として、農作業体験を実施。地域の子供たちに地産地消への理解促進とスポーツ振興などを広める。
JA氷見市	氷見市への寄付	保育園児の食育および食文化の振興と、春の全国中学生ハンドボール選手権大会の運営等に役立ててもらうことを目的に、ペットボトル「氷見はとむぎ茶」の売上金より850万円を寄贈。
JAいなば	小矢部市、高岡市への寄付、寄贈	JAいなばで販売している「富山はとむぎ茶」（ペットボトル）販売代金一部を、スポーツ振興のため小矢部市に寄付。高岡市へは物品（テーブル）の寄贈。
	災害時警察活動協力	被災状況に関する情報提供、警察活動に必要な物資の提供又は安全安心情報の共有。